

平成16年度 島根大学公開講座総合科学研究支援センター講演会
健康長寿社会を創出するための医工農連携プロジェクト公開講演会

島根の科学 — おもしろい科学のはなし —

平成16年10月23日（土）午後1時30分～3時30分
島根大学出雲キャンパス臨床大講義室（出雲市塩冶町89-1）

ヒトとマウスの胎生期を探る：1個の細胞（受精卵） から60兆の細胞が調和する身体ができる謎

講師：大谷 浩（島根大学医学部発生学）

我々ヒトの身体は60兆もの細胞からできていると言われていますが、その始まりはたった1個の受精卵です。一方、癌細胞も普通1個から始まり無限に増殖するはずですが、無秩序なため決してヒトと同じ大きさまで大きくなれません。では、我々はどのような過程を経て、全身各部が調和した身体を作り上げるのでしょうか？またその障害は、生後のどのような異常につながるのでしょうか？当教室で行っている研究をご紹介しますながら、クローンや先天異常との関係も含めて分かり易く解説します。

実験動物のラットでどのような実験 ができるか：血圧の変動，高脂血症， 免疫力増強作用に関して

講師：権田辰夫（島根大学総合
科学研究支援センター）

出雲キャンパス（医学部）においてラットを用いた実験研究は、多岐に亘り薬物反応，再生医学や近年では遺伝子改変ラットを用いた実験まで行われています。当教室で、これまでに行った研究の中で、血圧の測り方，採血による高脂血症の発生の確認あるいは免疫力増強作用等に関して、薬物投与の前後におけるそれらの変動とその意義についてお話しします。

入場無料 **ぜひ御来場ください**

問い合わせ先

島根大学総合科学研究支援センター実験動物分野
出雲市塩冶町89-1（0853-20-2364）

主催

島根大学
総合科学研究支援センター
健康長寿社会を創出する医農連携プロジェクト

